

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣桜高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年 12月18日(木) 13:45～16:30
- 3 開催場所 大垣桜高等学校 校長室
- 4 会議の構成 学校運営協議会委員

会 長	中川 信行	大垣市墨俣地域事務所 所長
副 会 長	堀 あゆ美	岐阜県社会福祉協議会 生活支援部 課長補佐
会 員	高木 久	墨俣一夜城(歴史資料館)
	西川 守	リバーサイド笠松園デイサービスセンター マネージャー
	日比野 有規枝	墨俣児童館 館長
	櫻井 康博	育友会長
学 校 側	宮田 慶美	校長
	税所 淳子	事務長
	瀬下 裕基	教頭
	郷 絵美	教務主任
	芝山 玲子	生徒指導部長
	山田 智子	進路指導部長
	高橋 路子	家庭・福祉部長

5 会議の概要

(1) 卒業研究作品発表会参観

(2) 展示発表見学

(3) 協議

自校評価について校長、各分掌長から説明

意見1: 生徒の姿は、生き生きして自信や自覚がある様子であった。多感な時期の学習・生活指導に加えて進路指導の難しさが理解できる。1年次から将来を見据えて指導が必要。

意見2: 卒業研究作品発表会は3年間の集大成として、すべての学科が主体的な学びの姿を見せてくれた。コロナ禍でできなかった仲間との高めあいに期待している。クラスの仲間にも教えてもらったり競い合う経験も時には必要。学校でうまく馴染めなかった人が社会に出て困難に陥る。何か頑張った経験があると乗り越えられるのではないかな。

意見3: 生徒は、目的はあっても悩みながら進む。試行錯誤したり話し合って今に繋がっている。社会に出てからも必要なことを教えていってもらいたい。外部とのつながりや支援も必要。

意見4： I C T活用が進んでいるが、新1年生からタブレット持参になることもあり機種の違いも生じる予想がつくため、教師の機器対応の技量も上げてほしい。
教育相談室の現状を確認したが、今後もきめ細かく対応してほしい。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、自校評価に対する委員の評価と来年度に向けての提案をいただいた。

今後も、地域との交流を大切に、支援をいただきながら魅力ある学校づくりを推進していきたい。